

2015年3月期 決算説明会

2015年5月13日

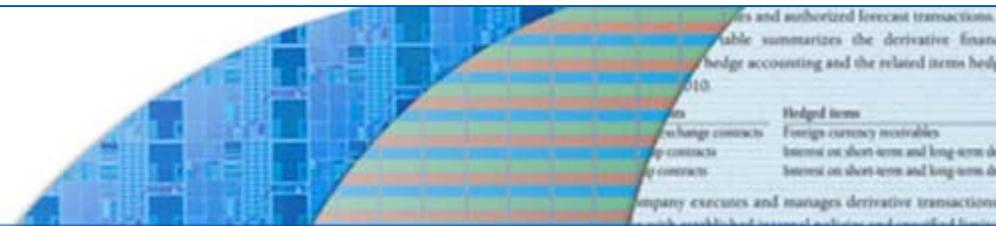
株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高執行責任者（COO） 垣内 永次

資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



本日のアジェンダ



1. 2015年3月期 連結業績

2. 2015年3月期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」の進捗（初年度総括）

5. 2016年3月期 業績予想

1. 2015年3月期 連結業績

2. 2015年3月期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」の進捗（初年度総括）

5. 2016年3月期 業績予想

2015年3月期 連結業績

	2014/3月期	2015/3月期						前期比	2/9予想
	実績	実績					通期		
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期			
(単位：億円)									
売上高	2,359	524	600	498	753	2,376	16	2,380	
SE	1,631	351	406	346	470	1,574	▲56	1,585	
GP	521	121	150	121	162	557	35	555	
印刷関連機器 (MT)	439	102	127	104	133	467	28	474	
プリント基板関連機器 (PE)	82	19	23	17	28	89	7	81	
FT	198	49	40	28	119	237	39	230	
その他	8	1	1	1	1	6	▲1	10	
営業利益	89	22	44	33	70	171	82	150	
営業利益率	3.8%	4.3%	7.5%	6.8%	9.3%	7.2%	3.4%	6.3%	
SE	87	29	33	40	54	157	69	-	
GP	27	4	14	1	7	28	0	-	
FT	▲4	▲4	2	▲8	14	3	7	-	
その他	▲22	▲6	▲5	0	▲5	▲17	4	-	
経常利益	83	23	42	28	67	160	77	142	
当期(四半期) 純利益	54	15	31	31	43	121	67	112	

*SEはセミコンダクターソリューション事業、GPはグラフィックアンドプレジジョンソリューション事業、FTはファインテックソリューション事業を示しています。

業績サマリー<2015/3月期>

>>前期比

(単位:億円)

	2014/3月期 通期		2015/3月期 通期		前期比 (増減)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減額	増減率
売上高	2,359	100.0%	2,376	100.0%	+16	+0.7%
営業利益	89	3.8%	171	7.2%	+82	+92.8%
経常利益	83	3.6%	160	6.8%	+77	+91.7%
当期純利益	54	2.3%	121	5.1%	+67	+123.7%

>>前四半期比

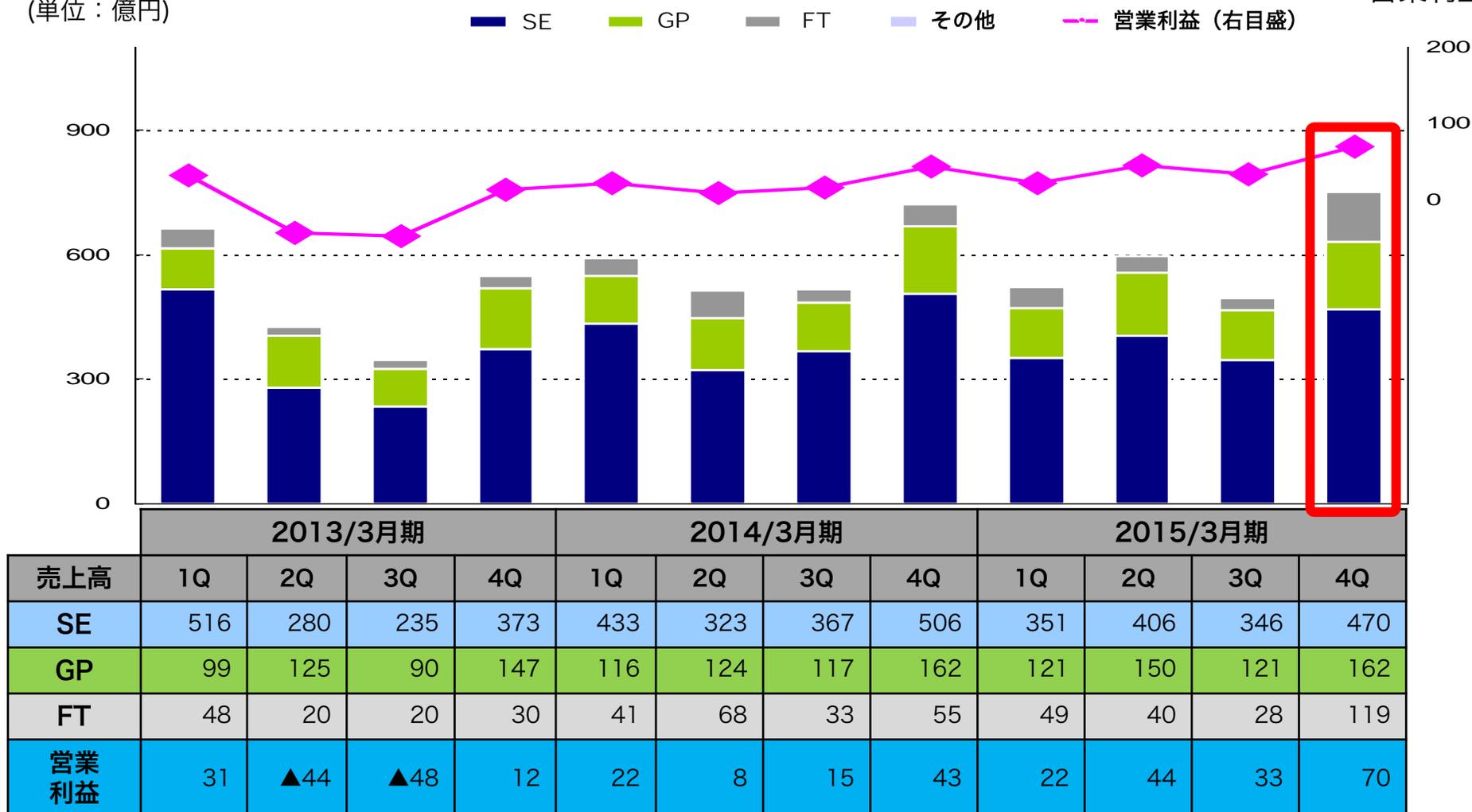
(単位:億円)

	2015/3月期 3Q		2015/3月期 4Q		前四半期比 (増減)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減額	増減率
売上高	498	100.0%	753	100.0%	+254	+51.1%
営業利益	33	6.8%	70	9.3%	+36	+106.9%
経常利益	28	5.7%	67	8.9%	+38	+137.6%
四半期純利益	31	6.3%	43	5.7%	+11	+36.7%

売上高/営業利益 四半期推移<連結>

売上高
(単位：億円)

営業利益



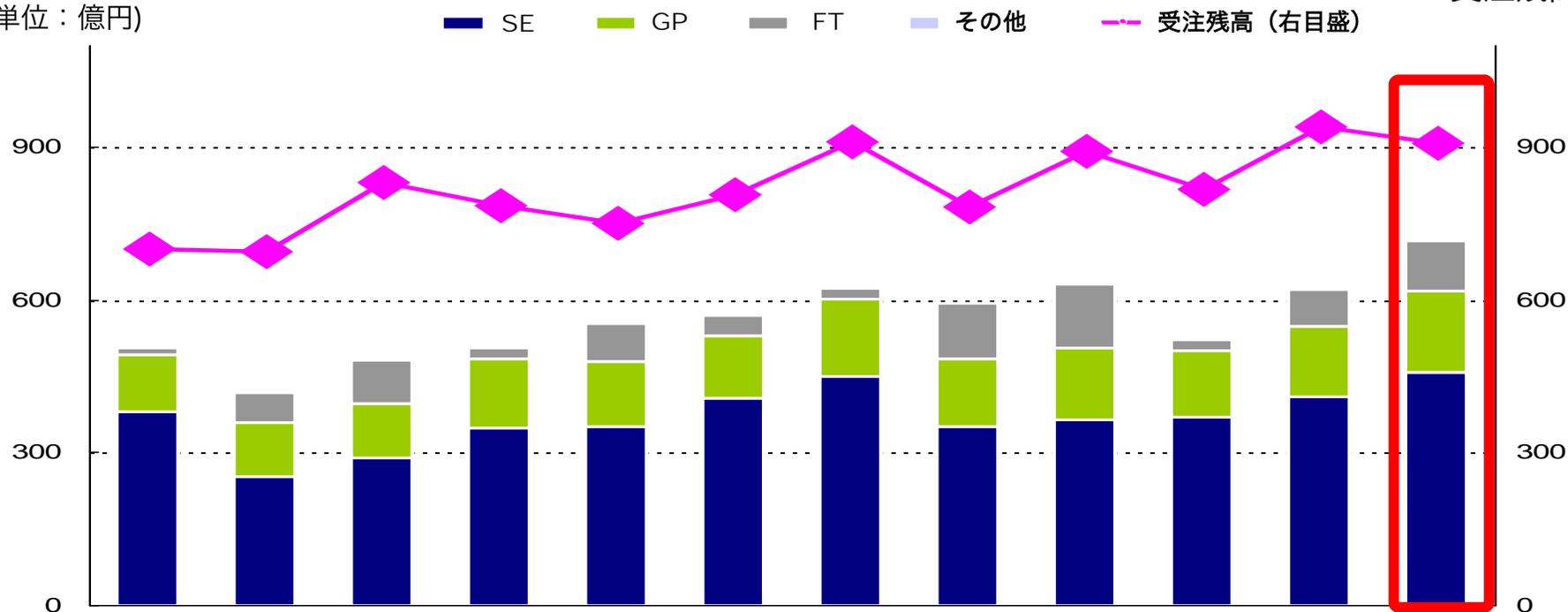
*2013年3月期のSE、FTは、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

受注高/受注残高の四半期推移<連結>

受注高

(単位：億円)

受注残高



	2013/3月期				2014/3月期				2015/3月期			
受注高	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
SE	382	254	290	350	351	407	450	351	366	369	411	459
GP	112	105	108	134	129	122	153	134	141	132	137	160
FT	11	60	84	23	73	42	21	110	125	20	72	98
受注残高	701	695	831	787	750	806	912	784	893	817	941	907

*2013年3月期のSE、FTの受注残高は、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

1. 2015年3月期 連結業績

2. 2015年3月期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」の進捗（初年度総括）

5. 2016年3月期 業績予想

セグメント別 業績概況<SEセグメント>

>>前期比

(単位：億円)

	2014/3月期 通期		2015/3月期 通期		前期比 (増減)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	1,631	100.0%	1,574	100.0%	▲56	▲3.5%
営業利益	87	5.4%	157	10.0%	+69	+79.7%

>>前四半期比

(単位：億円)

	2015/3月期 3Q		2015/3月期 4Q		前四半期比 (増減)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	346	100.0%	470	100.0%	+123	+35.5%
営業利益	40	11.8%	54	11.5%	+13	+32.7%

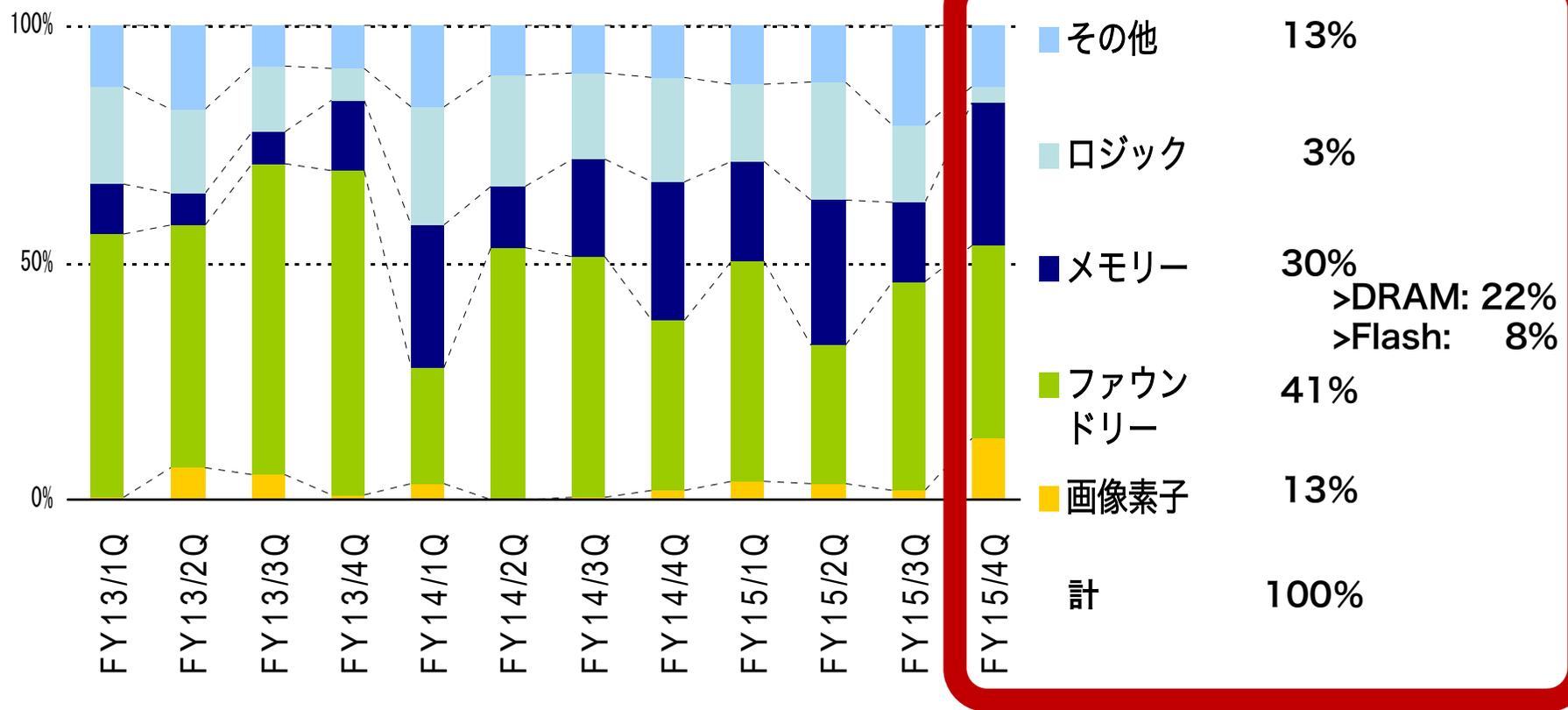
>>トピックス

- 前期比： 減収するも、変動費率改善を進め増益に
- 前四半期比： 売上増により増益。通期で営業利益率10%に
- 受注高： 2月予想を上回り459億円
- 事業環境： ファウンドリーが安定的に投資をけん引、メモリーも順調に投資を拡大
- 2016年3月期の見通し：
 暦年2015年のWFEは、前年比+5%前後の成長と見る
 収益性改善を継続的に推進

受注比率・四半期推移<SEセグメント・デバイス別単独>

>>単独・デバイス別受注比率

*ご参考：連結・受注高（459億円）



>>単独・4Q地域別受注比率



セグメント別・業績概況<GPセグメント>

>>前期比

(単位：億円)

	2014/3月期 通期		2015/3月期 通期		前期比 (増減)	
売上高	521	100.0%	557	100.0%	+35	+6.8%
営業利益	27	5.3%	28	5.1%	+0	+2.6%

>>前四半期比

(単位：億円)

	2015/3月期 3Q		2015/3月期 4Q		前四半期比 (増減)	
売上高	121	100.0%	162	100.0%	+41	+33.9%
営業利益	1	1.3%	7	4.7%	+6	+397.5%

>>トピックス

- 前期比： 国内、欧州を中心にCTP、PODの需要回復により、増収微増益
- 前四半期比： 売上増加、収益率は改善
- 事業環境： 国内は、CTP更新需要が好調
海外は、米国を中心にPODが堅調、欧州はPODの販売伸長
- 2016年3月期の見通し：
研究開発費は増加させるも、増収効果もあり、収益性改善の見込み

セグメント別・業績概況<FTセグメント>

>>前期比

(単位：億円)

	2014/3月期 通期		2015/3月期 通期		前期比 通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	198	100.0%	237	100.0%	+39	+19.8%
営業利益	▲4	▲2.1%	3	1.4%	+7	—

>>前四半期比

(単位：億円)

	2015/3月期 3Q		2015/3月期 4Q		前四半期比 (増減)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率
売上高	28	100.0%	119	100.0%	+91	+325.5%
営業利益	▲8	-31.9%	14	12.0%	+23	—

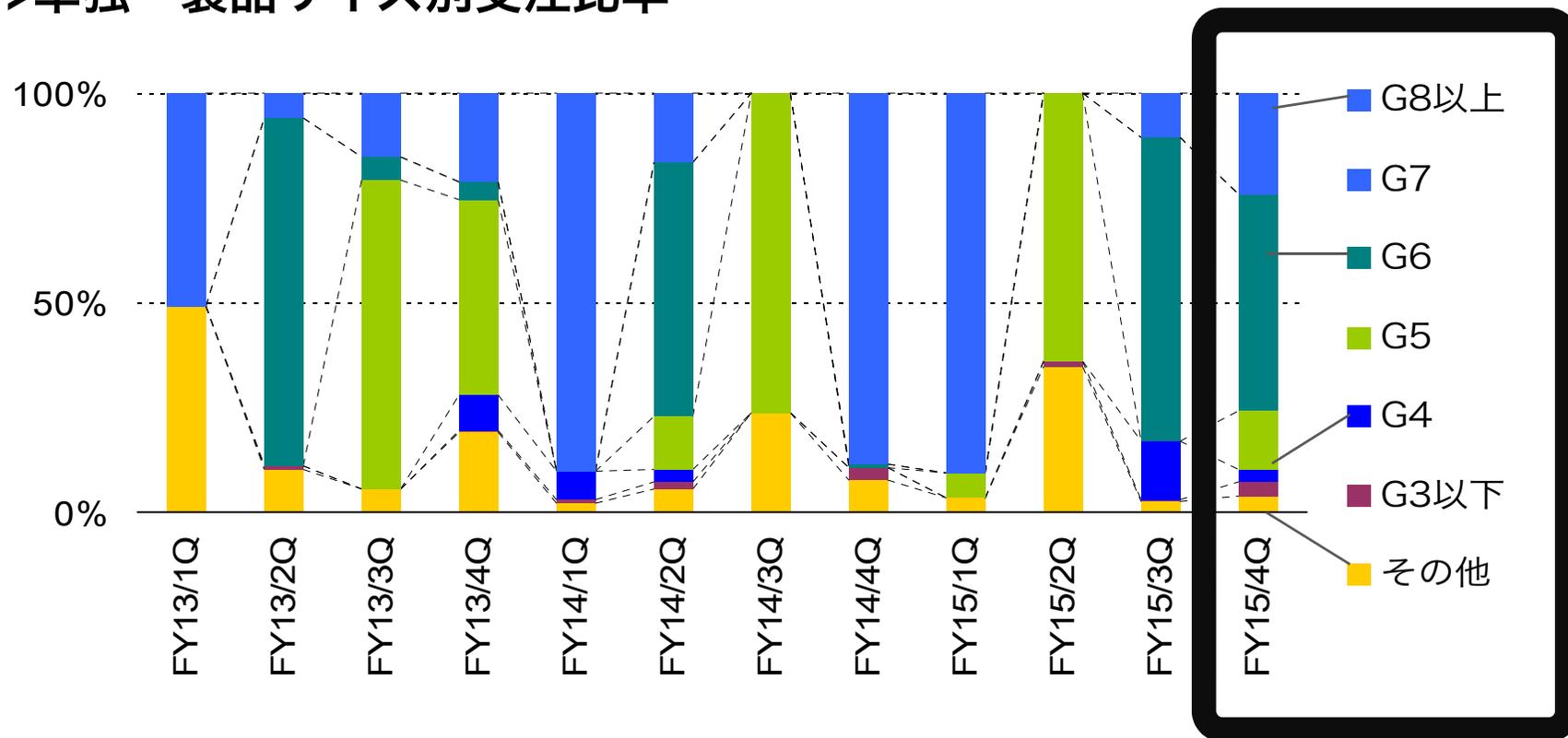
>>トピックス

- 前期比： 増収増益、4期振りの黒字化。中国向けTV用大型液晶パネル用装置に加えて、スマホ向け中小型液晶パネル用装置の売上が順調
- 前四半期比： 原価低減およびポストセールス（改造）により、営業利益が大きく改善
- 受注高： 2月予想水準の98億円。今後も大型、中小型ともに好調継続見込み
- 事業環境： 中国向けTV用大型装置に加えて、中小型への投資が継続
中国に加え、日本、台湾での投資堅調
- 2016年3月期の見通し：
3月末の受注残高279億円を確保。当面堅調

受注比率・四半期推移<FTセグメント・世代別単独>

>>単独・製品サイズ別受注比率

*ご参考：連結・受注高（98億円）



>>単独・4Q地域別受注比率



1. 2015年3月期 連結業績

2. 2015年3月期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」の進捗（初年度総括）

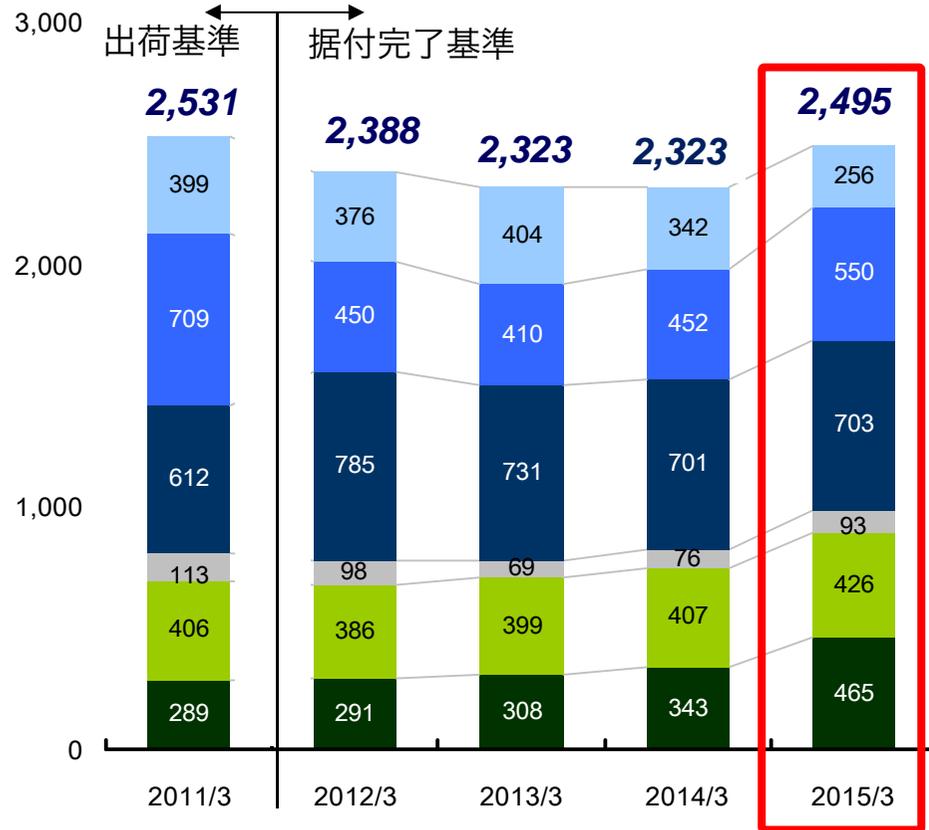
5. 2016年3月期 業績予想

貸借対照表<連結>

資産

(単位：億円)

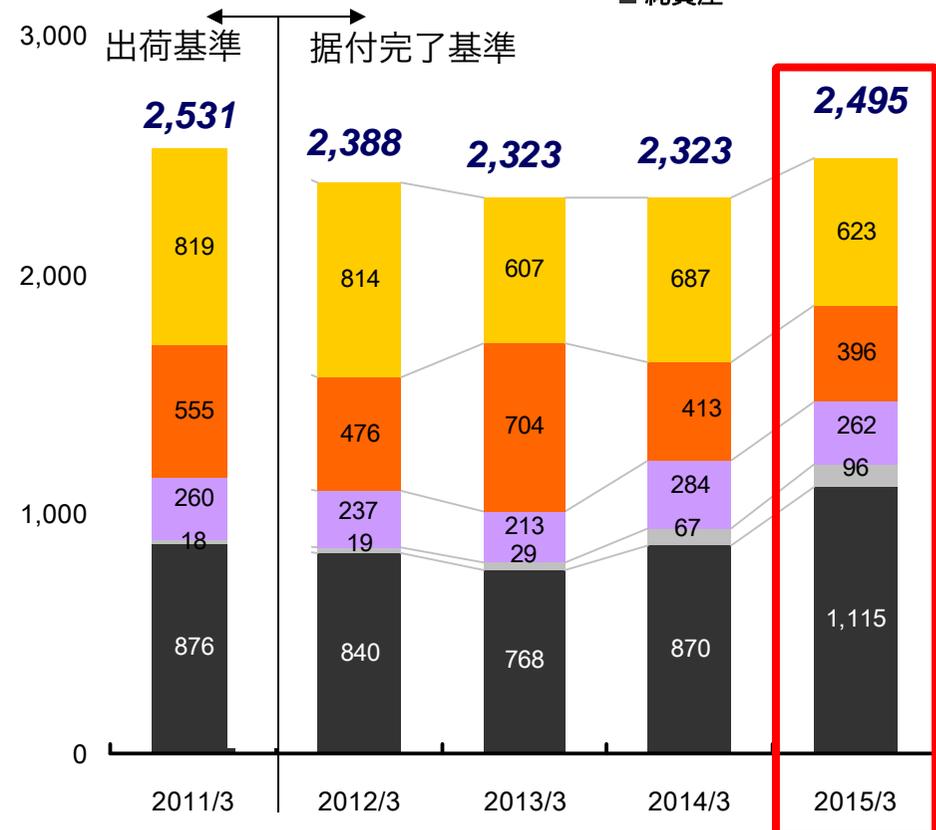
- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- たな卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産・投資ほか



負債および純資産

(単位：億円)

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産

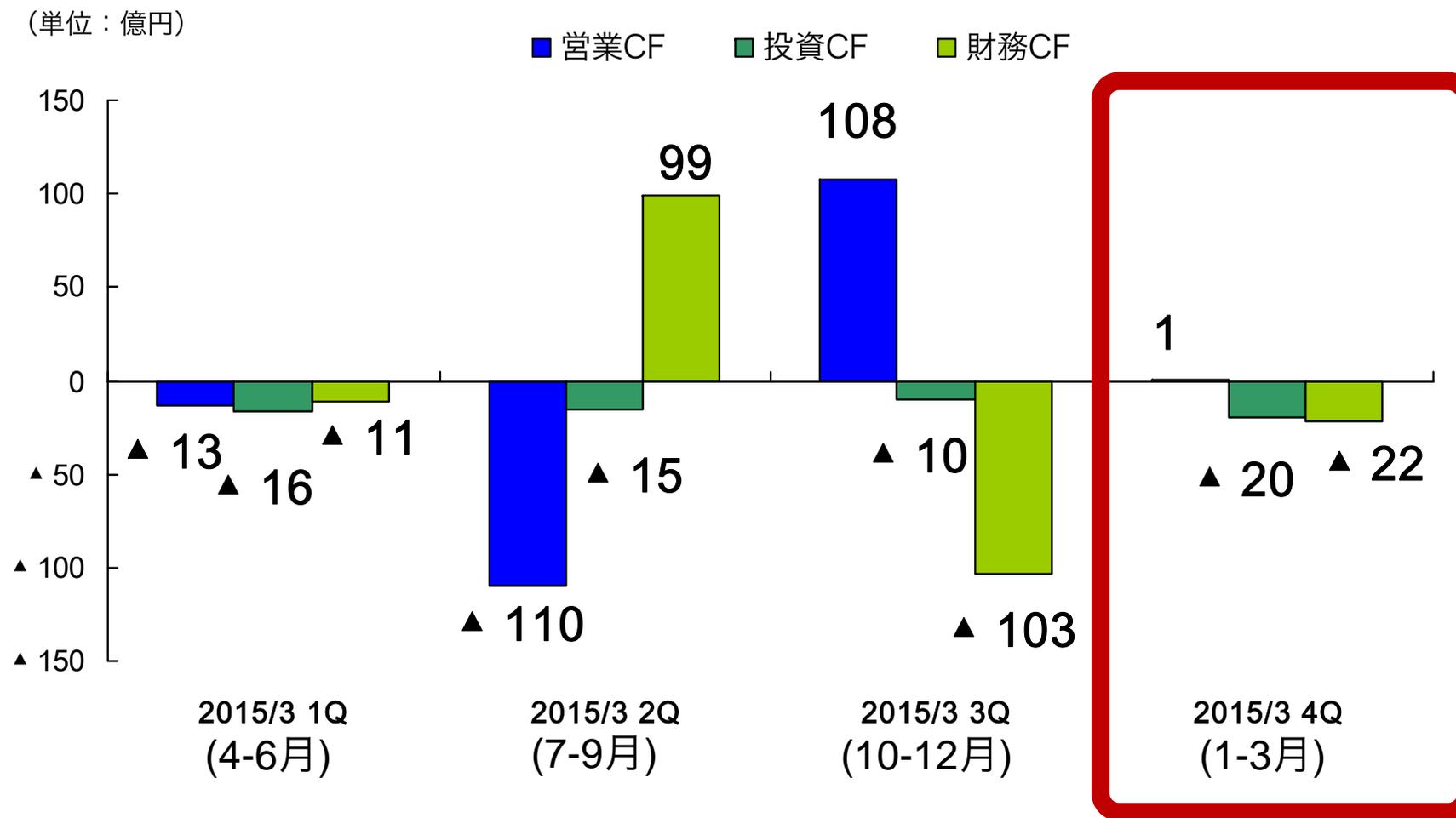


自己資本比率 37.2% (2014/3) → 44.4% (2015/3)

*2012/3、2013/3は、据付完了基準を遡及適用して記載しています。

キャッシュ・フロー<連結>

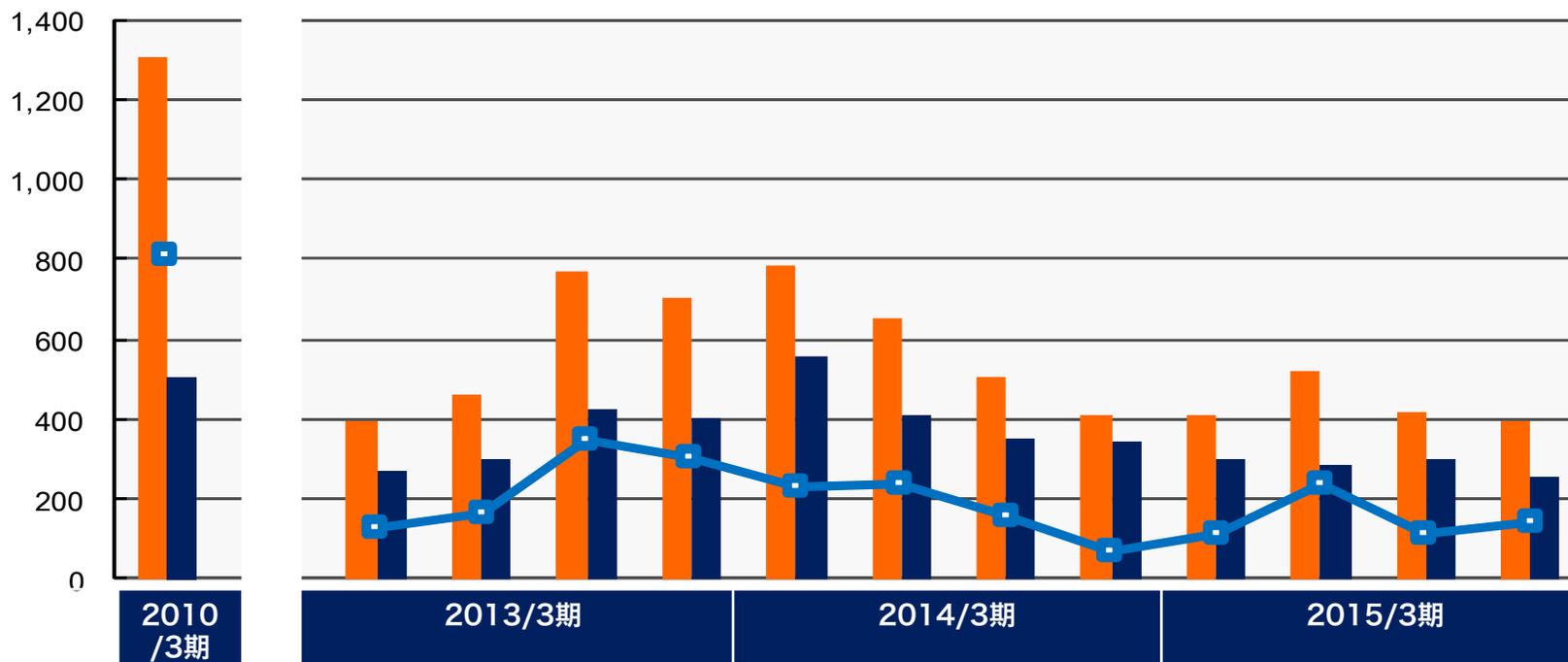
>>通期累計 フリーキャッシュ・フロー： ▲78億円



有利子負債推移<連結>

(単位：億円)

■ 有利子負債
 ■ 現金及び預金
 —■— ネット有利子負債



	2013/3期												
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	
有利子負債	1,310	393	459	769	704	786	649	507	413	413	520	417	396
現金及び預金	502	270	297	424	404	557	408	350	342	298	285	302	256
ネット有利子負債	807	123	161	344	300	229	240	156	71	115	235	114	140

1. 2015年3月期 連結業績

2. 2015年3月期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」の進捗 (初年度総括)

5. 2016年3月期 業績予想

中期3カ年経営計画と方向性

■ 目指すべき方向性

→ 高収益体質へ

→ 新規領域での
事業化

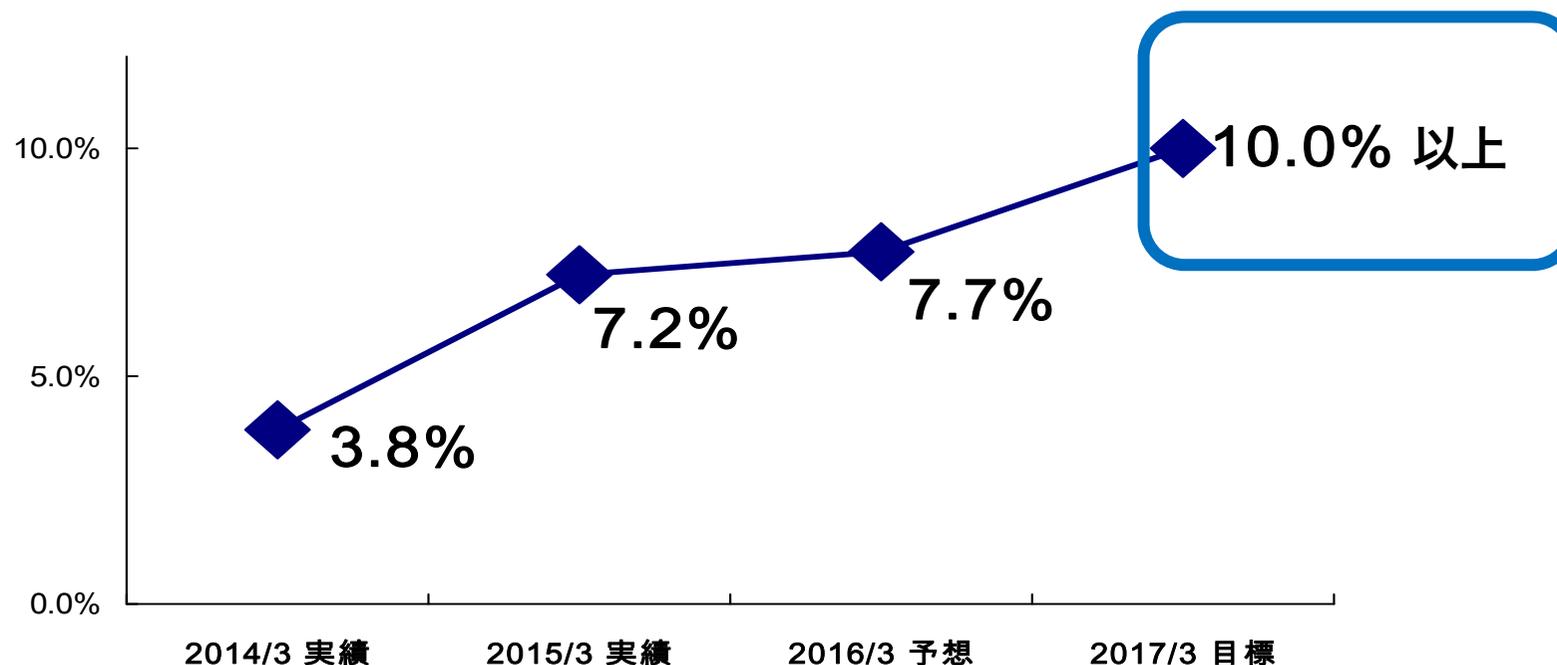
→ 財務体質強化

3つの目標：

- ① 収益構造改革：最終年度の
営業利益率10%以上
- ② 新規事業創出：4つの新規事
業領域で黒字化
- ③ 財務体質の強化：最終年度
の自己資本比率50%以上

強いものをさらに強く

目標①：収益構造改革：最終年度の営業利益率10%



- 各事業の主要製品の変動費率改善（必ずやり抜く！）
- 高付加価値製品群とポストセールスの売上比率向上
- 損益分岐点売上高の低減を徹底

目標②：新規事業創出（4つの新規事業領域で黒字化）

>>2015年4月、新たな組織をHD内に発足（開発＋営業＋マーケティング）
開発拠点・ホワイトキャンバス洛西に集約

ライフサイエンス

→ 最も先行。リリース製品は順調

>>iPSポータル社に出資（2015年3月期）
再生医療分野での商品開発を加速

>>Cell³iMager販売、欧米日で販売網確立
3D細胞培養対応スキャナー

>>DP-i3000（インクジェット式
錠剤印刷機）、4月より受注開始



目標②：新規事業創出（4つの新規事業領域で黒字化目指す）

検査計測

IM-3100（鍛造部品自動外観検査装置）、
車載部品市場で好評、
上市フェーズへ

プリントッド
エレクトロニクス

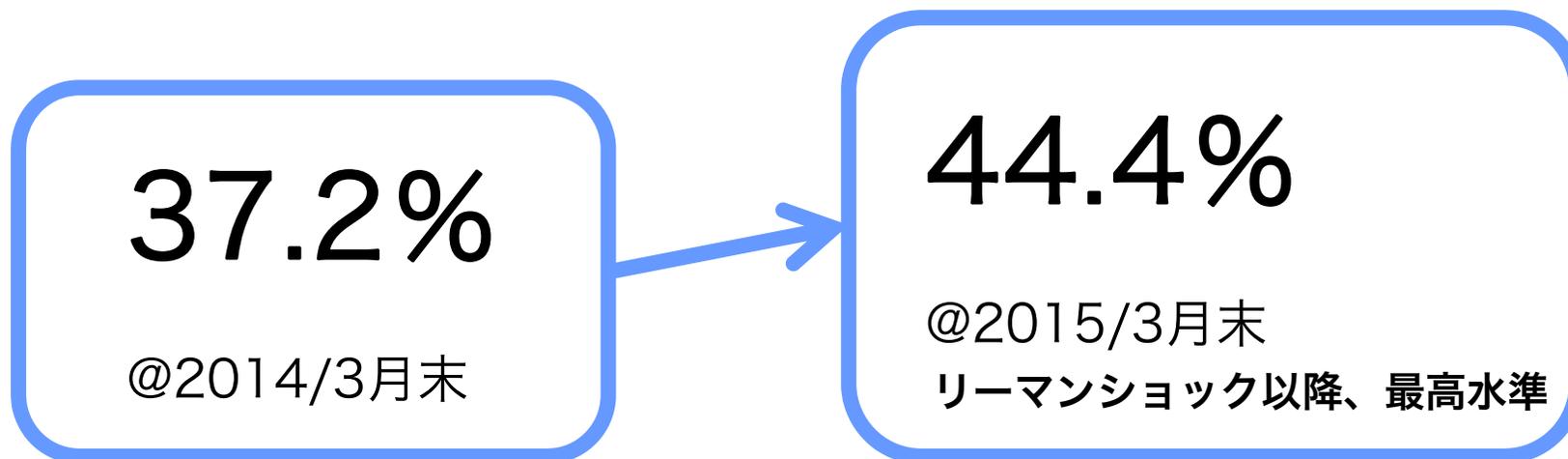
ビジネスモデルの多角化に向けて、プロセス
技術開発、製品開発が進捗中

Printro **I** nics

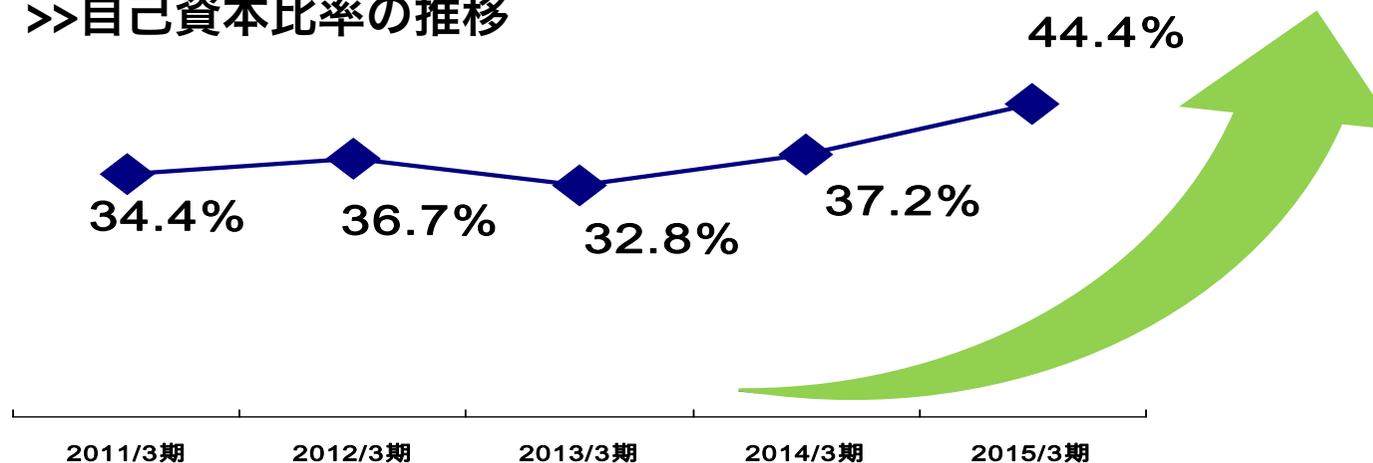
エネルギー

車載用二次電池（リチウムイオン
バッテリー）、その他の塗工分野に
も展開中

目標③：財務体質の強化：最終年度の自己資本比率50%以上



>>自己資本比率の推移



企業価値向上



株主還元方針

連結総還元性向
25%目標

- 中期計画の進捗状況
収益動向を加味

ROEの向上

JPX400 銘柄へ

- 利益率向上
- バランスのとれた
株主資本コントロール

FCFの最大化

格付改善へ

- 成長投資の原資確保
- 財務耐久性の強化

中期3カ年経営計画 Challenge2016

・収益構造改革の完遂・新規領域での事業化・財務体質の強化

企業価値向上

ROEを高める経営

2桁台持続を目標

6.66%

@2014/3月末

12.29%

@2015/3月末

連結総還元性向25%目標

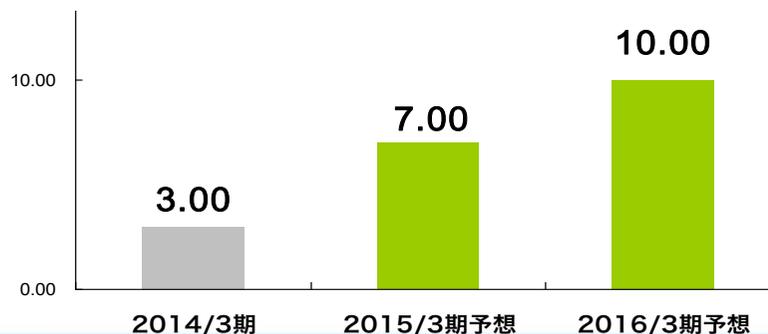
中計目標「自己資本比率50%以上」
「営業利益率10%以上」進捗状況や
収益動向を加味

FCFの最大化

→キャッシュ・コンバージョン・
サイクル (CCC)の短縮

株主還元方針の明確化

>>1株当たりの配当金推移(円)



1. 2015年3月期 連結業績

2. 2015年3月期 セグメント別業績概況

3. 財務状況

4. 中期3カ年経営計画「Challenge2016」の進捗（初年度総括）

5. 2016年3月期 業績予想

2016年3月期業績予想

(単位：億円)	2015/3期			2016/3期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	1,124	1,251	2,376	1,300	1,180	2,480
S E	757	816	1,574	835	765	1,600
G P	272	284	557	295	295	590
F T	90	147	237	165	105	270
その他	3	3	6	5	15	20
営業利益	67	104	171	93	97	190
営業利益率	6.0%	8.3%	7.2%	7.2%	8.2%	7.7%
経常利益	65	95	160	88	97	185
当期純利益	46	74	121	68	72	140

●想定為替レート>> 1米ドル=115円、1ユーロ=130円

●年間配当金予想>> 期末配当1株当たり10円

注：SEはセミコンダクターソリューション事業、GPはグラフィックアンドプレジジョンソリューション事業、FTはファインテックソリューション事業を示しています。

Challenge2016>> 2年目の重点テーマ

●収益構造改革の推進：損益分岐点売上高の低減、営業利益率向上

SE>> 変動費率改善、ポストセールスの強化、フロンティア製品の拡販

GP>> 市場投入したPOD新製品の欧米での拡販、循環型ビジネスモデルの強化

FT>> 事業ポートフォリオの転換、新規事業の本格立ち上げ、
ポストセールス拡大

●財務体質強化：

在庫圧縮を含む運転資本の最適化によるFCFの最大化、資産効率の向上（政策保有株式の流動化を含む）により自己資本比率のさらなる向上

●株主総還元性向：方針どおり、目標は25%達成を目指す

●新規事業分野：研究開発や新規ベンチャー企業へ積極的な投資

SCREEN

Fit your needs, Fit your future

